

## 座談会・非正規職員からみた沖縄県の学校図書館

### 参加者：学校図書館非正規職員3名

#### ■司書になろうと思ったきっかけ

——今日は、お忙しい中、座談会にお集まり頂き、ありがとうございます。これから、現場で働かれている非正規職員の皆様から見た学校図書館の雇用問題について、いろいろな話をおうかがいしたいと思っています。早速ですが、皆様の勤務経験を教えてください。

司書A（以下A） 私は現在2年目です。大学生時代は1年間、高校図書館でアルバイトをしていました。

司書B（以下B） 私も2年目です。昨年、1年間、中学校の司書として勤務して、今年は別の学校に移りました。

司書C（以下C） 私は1年目です。

——皆様は大学で司書資格を取得し、図書館学のゼミを専攻していたそうですが、いつ頃から司書になりたいと思っていたのですか？

A 小学校の頃に図書委員になったのがきっかけでした。先生が本の紹介をしている姿を見て、「ああ、いいなあ、こんな仕事をしたいなあ」と思いました。みんなが本を好きになってくれるような手助けをしたいなあ、と漠然と思ってました。

B 私もそうです。小学校の司書の先生がすごくいい先生で、憧れていました。本格的に司書になりたいと思ったのは、中学校の時です。中学校の先生が、少し体が不自由だったので、私が先生を手伝っていました。いろいろな仕事を任されていて、先生にもいろいろ教えてもらって、図書館の仕事に魅力を感じました。

C 私は小中高、ずっと図書委員をやっていました。もともと本が好きだったのと、先生の手伝いをしている内に、自分もこんな仕事をしたいと思いました。私も、好きな本をいろいろな人に紹介したいと思っていました。

——皆様は現在、学校図書館で働かれていますか、公共図書館で働きたいと思いませんか？

A 今後も学校図書館で働きたいです。公共図

書館とは違って、利用者との距離が近く、子どもたちの反応がすぐに返ってくるので、仕事をしていますごく楽しいです。

B 学校司書は、教科の枠にとらわれずに、生徒の興味を広げることができる、というところにやりがいを感じています。ただ、将来的には、学校図書館だけでなく、公共図書館でも働いてみたいです。

C もともと公共図書館で働きたいと思っていたのですが、履歴書を出したところ、たまたま学校図書館に空きがあったので、採用されました。学生時代は、学校図書館で働くことはほとんど考えていなかったのですが、働いてみると、利用者の反応がダイレクトに返ってくるので、とても面白いです。総合学習で、生徒と一緒に調べものをするのが多いのですが、答えが見つかったときに、生徒と声をあげて喜んだりして、本当に素晴らしい仕事だと思います。

——学校図書館で働くとしたら、司書教諭という選択肢もあると思うのですが、司書教諭になりたいとは考えていますか？

A 私は、大学時代に教員免許を取得しましたので、司書教諭の資格も持っていますが、授業との兼任では、学校図書館の仕事に専念できないので、学校司書がいいです。

B 私も、司書教諭の資格を持っていますが、もともと図書館員になりたいという気持ちが強かったので、学校司書を希望しています。ただ、学校図書館の仕事の中には、教員という立場でしかできないことも多いと思うので、司書教諭が専任化されたらいいなあ、と思っています。

C 私は教員免許を持っていませんので、司書教諭にはなれません。司書教諭が専任化されたら、司書資格だけでは学校図書館に勤務できなくなると思うので、今、通信で教員免許を取れないかどうか、調べています。

#### ■学校図書館のおもしろさ、難しさ

——学校図書館の仕事は楽しいですか？

C 今は「楽しいです」と言えますが、私は大学時代に学校教育について学んでいなかったの  
で、赴任した当初は、生徒にどんなふう接して  
いいかわからなくて、かなり悩みました。でも、  
最近はやouやく慣れてきて、生徒たちともう  
まくコミュニケーションを取れるようになりました  
ので、仕事も楽しくなってきました。

A 大変なことはありますが、好きな仕事なので、  
やりがいを感じています。でも、学校図書館は  
同僚がいない「1人職場」なので、1年目はと  
ても不安でした。

C 私の場合、赴任前になぜか「経験者が来る」  
という間違った情報が流れていたらしく、引継  
の時間が3時間しかありませんでした。学内に  
相談相手もいないので、とても困りました。

B 私も、前の中学校に勤務していた頃は、ギリ  
ギリに採用が決まったので、前任者から仕事  
を教えてもらう時間が十分にはとれませんでした。  
そのことで私はとても困ったので、私の後任  
者には3日間かけて、きちんと仕事を教えて  
来ました。

A 私も、最初の1年目は不安だらけでした。学  
内の先生たちとの連携の取り方が分からな  
くて、調べ学習の資料が足りなくなったり、選  
書を依頼しても先生たちが協力してくれな  
かったりしました。困ったことがあると、地  
域内のベテランの司書の方にメールを書い  
たり、電話をかけて相談することもできま  
すが、やはりメールや電話ではきちんと伝  
わらないし、本務の先生たちはとてもお忙  
しいので少し遠慮もあります。近くに顔  
を見ながら相談できる相手がいたらいいの  
にいつも思っています。幸い、同期の卒業  
生が何人か学校図書館現場で働いていま  
すので、時々みんなで集まって、情報交換  
をしています。

B 学校司書は、職務上は事務職員ですが、子  
どもたちに接する仕事なので、学内では「先  
生」と呼ばれています。かといって、授業  
を持っている先生たちと完全に同じ立場  
でもないの、事務の人たちとも、先生たち  
とも関わりが薄く、学内で悩みを共有し  
たり、相談したりすることができません。  
そういう意味では、少し寂しい仕事だと思  
います。

—皆さんの学校にも、すでに司書教諭は配置

されていると思うのですが、仕事を教えてもら  
ったり、相談したりすることはないのですか？

A 私は、どの先生が司書教諭なのか教えても  
らっていません。発令されているかどうかは  
つきりしません。学校図書館の仕事は全て  
1人でやっています。

C 私の学校の司書教諭の先生は、とてもお忙  
しい立場にあるので、日常的な仕事につ  
いては、なかなか相談できません。

B 私の学校の先生は他の学校よりは図書館に  
関わってくださっていると思います。ただ、  
授業時間中は図書館の仕事はできないの  
で、もっと時間に余裕のある先生が配置  
されたらいいの、と思うこともあります。

#### ■雇用条件・雇用環境に対する不満

—給与や残業手当などの雇用条件、雇用状況  
に不満はありませんか？

B 昨年、私は、どうしても学校図書館の  
仕事をしたくて、自宅からかなり離れた  
場所にある中学校に勤務していたので  
すが、交通費が1ヶ月に3万円ほどかか  
っていて（高速代）、やはりこのまま  
では生活ができないと思い、今年から  
自宅の近くの学校に移りました。自治  
体によって違いはありますが、たいて  
いの非正規職員は交通費が出ないので  
、自宅の近くの学校ではないと生活が  
苦しくなると思います。

A 他の事務の方は、給食の後、少し休  
憩する時間がありますが、私の場合  
は、清掃指導もありますので、給食が  
終わったらすぐに図書館に戻って鍵を  
開けて、子どもを見ていないといけ  
ません。明細上は、休憩時間は勤務時  
間に入っていないのですが、実際には  
15分も休憩していないと思いま  
す。その点に少し不満を感じます。

C 私も似たような状況です。昼休みに  
は生徒が本を借りに来ますので、時  
間をずらして食事をとって対応して  
います。ただ、4時間目も5時間目  
も授業が入っているときは、食事が  
できないこともあります。1日の内、  
休める時間はほとんどありません。

—残業はありますか？

B 雇用契約上は5時に図書館を閉めて  
いいことになっているのですが、中  
学校に勤務していた頃は、クラブ  
帰りの生徒の要望で、毎日6時

半～7時頃まで図書館を開けていました。もちろん残業費はありませんでした。

A 私の学校では、下校時間が厳しく決められていて、開館していると子どもたちが帰宅しないので、4時半には必ず閉めるように指示されています。子どもがいない時間にしかできない仕事もあるので、本当は残業をして仕事を終わらせたい時もあるのですが、管理職や他の事務の方から、残業はしないように、と強く言われているので、帰宅せざるをえません。明日では間に合わない仕事もあるので、残業を認めて欲しいです。

C 私も、大体1日1時間くらいは残業しています。生徒からの要望があるので、ボランティアで図書館を開けています。

A 私の場合、学校側から9時半に出勤するよう言われているのですが、できるだけ9時前には出勤して、1時間目の授業に対応できるようにしています。ボランティアでやっていることなので、超過勤務手当はありません。

——一部の学校では、臨時の学校司書がクラブ顧問を任されていて、放課後遅くまで子どもの指導をしたり、休日に試合を見に行ったりという話を聞いたことがあるのですが……

B 私自身はクラブには関わっていませんが、他の学校で、そういうことがあると聞いたことがあります。おそらく、非公式にやっていることなので、特別な手当はないと思います。

#### ■図書館行政に対する意見

——ここまでのお話を聞いていると、皆様のような若い方の熱意やボランティア精神で学校図書館活動が成り立っているということが分かってきましたが、その一方で、多くの自治体で、正規職員を減らして、非正規職員を増やしています。こうした県内の図書館行政についてどう思いますか？

A やはり正規職員として働きたいです。最近では、司書枠での採用がほとんどないので、とりあえず自治体の事務職の試験を受けています。

B 私もそうです。

C 私も公務員試験を受けています。でも、事務職では、図書館に配属されるとは限らないので、やはり司書専門の採用枠を増やしてほしい

です。

——非正規職員という身分では学校図書館の仕事が続けるのは難しいですか？

C 1年で任期が切れてしまうので、専門性が身に付かないことに焦りを感じています。仕事をする中で、いろいろな反省が見えてきますが、1年で任期が切れると、翌年にその反省を活かすことができません。せめて2年は司書をやらないと、生徒たちにも悪いし、責任を果たしていないように感じます。最近やっと仕事になってきたのに、あと半年でこの仕事を辞めないといけないと思うと、とても残念です。できれば来年も続けたいです。

A 私は同じ学校に2年連続して勤務しているのですが、やはり経験は大切だなあと実感しています。例えば、1年目に、子どもから「面白い本を紹介して」と言われたことがあったのですが、その子どもの読書傾向は分からないし、図書館にどんな本があるかも分からないし、結局、何も答えられませんでした。それが、2年目になると、だんだん子どもの好きな本が分かってきて、1人1人の読書傾向も何となく把握できるようになってきたので、相談を受けたら、すぐに「あそこの棚に面白い本があるよ」と言えるようになりました。1年目は仕事の引継だけで精一杯で、子どもたちにいいサービスをするという余裕はないと思います。1年で学校司書がどんどん交代するのは、子どもたちにとってもよくないのではないのでしょうか。学校司書は、同じ学校に3年くらいはいるべきだと思います。

C 贅沢を言える立場ではないことは分かっていますが、学校司書は、せめて2年間は同じ学校に在るべきだと思います。

A 私の学校では、今まで、頻繁に司書が入れ替わっていましたが、私が、勤務して2年目の4月に、「あ、今年も同じ先生がいる。よかった」と言われたことを今でもはっきり覚えています。司書によって、図書館の運営の方法も違うので、子どもたちにとっても、司書が頻繁に入れ替わるのはよくないと思います。

B 前の学校を辞める時も、生徒からとても寂しがられました。通勤が大変だったので、学校を変りましたが、今でも胸が痛いです。

——非正規職員は給与も安く、残業手当も保障されず、さらに、任期があって、どんなに頑張っても、継続して雇用される可能性はありません。一方で、司書枠での採用は減っていますので、安定した雇用条件で仕事を続けることが難しい状況にあります。こうした状況が長く続くと、学校図書館界から有能な人材が流出する恐れがあるのではないかとと思うのですが？

B 若い女性なら、自宅から仕事に通うので、今の給与でもなんとかなると思いますが、男性で、独立して生活をしないといけない、となると長く続けるのは無理だと思います。

A 学校図書館では、男性の非正規職員はほとんどいません。

C 私は1人暮らしをしているので、今でも生活は決して楽ではありません。臨時の任期は1年なので、来年、図書館の仕事がなかったらどうしようかと、毎日考えています。どんなに図書館の仕事をしたくても、1人で生活しないといけないので、臨時採用の声がかからなければ、民間の仕事も探さないといけなくなると思います。先のことを考えると悲しい気持ちになります。

——もしこれから先、沖縄県の司書全員が非正規職員に切り替わったらどうしますか？

A 図書館で仕事をしたいのは山々ですが、生活しないといけないので、民間企業に就職すると思います。今は、本務の司書になりたい、という気持ちを持っているので、条件が悪くても、非正規職員の仕事を続けていますが、本務になる可能性がゼロのまま、身分が不安定な非正規職員を綱渡りのように続けるのは嫌です。

B 私も民間企業に就職します。今は、学校が近くなったので、給与面でもそれほど不満はありませんが、一生続けられる保障がないのは不安です。

C 民間企業でも若い人しか採用してくれませんが、仮に図書館の仕事があるとしても、本務の司書の登用が保障されないまま、ずるずると非正規職員を続けることはできません。

——ということは、県内の司書が全員、非正規職員になってしまうと、かなりの確率で、人材流出が起こる可能性もあるわけですね。

B 私が以前勤務していた自治体は、すでに学

校司書を全員、非正規職員に切り替えていました。そのせいか、非正規職員の募集をかけても、なかなか有資格者が集まらなかったようです。すでに人材流出の問題は起こっているのかもしれない。

——財政状況が苦しい自治体では、今後、学校図書館も含めて、司書職を民間会社やNPOなどの指定管理者に委託する可能性もあります。委託した場合、非正規職員のように1年で任期が切れることはなくなるとは思われますが、民間企業やNPOからの派遣職員として司書を続けたいという気持ちはありますか？

C 1年先の状態が見えない今の状況よりはいいと思いますが、それを最終目標にすることはできません。指定管理制度について、まだ勉強不足なところもありますが、今のところは、他の自治体の公務員試験に受かるまで、という感覚になると思います。

——もし、県内の司書全てが民間業者やNPOからの派遣職員になったら、どうしますか？

B 業務委託で給与がきちんと上がるならば、働いてみたい気持ちもありますが、やはり生活しないといけないので、給与が据え置きならば、民間企業でいい条件の仕事に移ると思います。どちらにしても、一時的な仕事としか考えられません。

A 私も同じです。結婚後にパート感覚で仕事をするならば、それでもいいかなと思いますが、派遣職員という身分には不安を感じます。学校図書館の仕事は、専門的な仕事ですので、しっかりとした身分保障の上で、安心して仕事ができるようにしてほしいです。

——本日は、現場の皆様のお話を聞くことができとても参考になりました。皆様が日々、不安な気持ち抱えながら、それでも一所懸命仕事に取り組んでいることを、沖縄県の図書館行政、地域の人たちに知ってもらえるように、研究部会一同、頑張っていきたいと思います。本日は、どうもありがとうございました。

一同 ありがとうございました。

(実施日時：2005年10月30日15時～17時

／司会・記録：山口真也)

やまぐちしんや：沖縄国際大学